

# 池田町観光ガイド

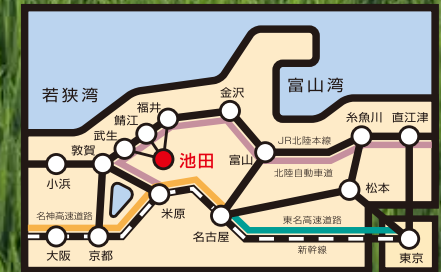
# 池田ごよみ

iked a  
あたりまえがふつうにあるまち  
池田町

## 交通のご案内

ココで待ってます

- 大阪から ..... JR (特急・武生駅まで) ..... 約2時間  
自動車 (名神～北陸自動車道武生I.Cまで) ..... 約3時間
- 名古屋から ..... JR (特急・武生駅まで) ..... 約2時間  
自動車 (名神～北陸自動車道武生I.Cまで) ..... 約2.5時間
- 東京から ..... JR (東海道新幹線・米原経由特急・武生駅まで) ..... 約3.5時間
- JR武生駅から ..... 福鉄バス (稲荷バス停まで) ..... 約1時間
- 北陸自動車道武生I.Cから ..... 自動車 ..... 約30分



〈お問い合わせ〉  
いけだ農村観光協会  
〒910-2512 福井県今立郡池田町稲荷36-25-1  
TEL.0778-44-8060 / FAX.0778-44-8041  
観光HP:e-iked a.jp/  
フェイスブック:www.facebook.com/iked a.nouson.kanko

いけだ農村観光協会 検索

iked a calendar

# 四月



あたりまえがふつうにあるまち

iked a calendar



池田の人は、山を大切にす。必要以上に採らない、一芽は残す、踏み荒らさない。簡単なようで一番大切なことだ。



山菜料理を食べるなら「かずら」「冠荘」といった店がおすすめ。朝摘みの珍しい山菜を天ぷらやおひたしなどで楽しめる。地図 A-4

春になると、人々は忙しい田仕事の合間を縫って、山へと入る。雪解けのまだぬかるんだ道をとせと歩きながら、今年最初の恵みを探す。池田の人々にとって山菜は日常的存在。旬の味わいであり、一年を通じた保存食となり、貴重なビタミン源となる。

慣れた人は魔法のように山菜を見つける。フキノトウ、ワラビ、コゴミ、タラノメ、コシアブラなど種類も豊富だ。



## 春の訪れを告げる山の恵み

## 目次

動きはじめる春のまち	4月	2
	5月	3
	6月	5
自然に浸かって過ごす夏休み	7月	7
	8月	9
ゆっくりと流れる秋時間	9月	11
	10月	12
食を楽しみ、味わう	11月	13
	12月	16
雪の中で、のんびりと安らぐ	1月	18
	2月	19
心と体を癒す	3月	23
	宿泊	24
	おみやげスポット	26
	タウンページ	27
	ロードマップ	29

### ガイドブックの特徴

このガイドブックは、月別に池田町の魅力あるスポットを紹介する構成になっています。月別にはしてありますが、それぞれの観光スポットは、季節ごとにまた違った楽しみ方があります。

### ガイドブックの使い方

施設・スポット説明に付けてある A-5 などの番号は、巻末の「観光ロードマップ」での場所を示しています。また、「マップイラスト」は施設の外観などを表現しています。これを参考に足を運んでみてください。宿泊施設等の連絡先は、27・28 ページにまとめて掲載しています。





池田町の田植えはこの頃。少しでも多くのお米を収穫できるように、田んぼの隅々は手作業で苗を植える「すま植え」を行う。



かずら橋とそば道場に隣接する「水車広場」では、しゃくなげなどの花を眺めながら芝生でお弁当を食べられる。 地図 A-5



しゃくなげは町花。5月初旬、志津原高原一帯に可憐な花を咲かせる。町内には愛好家もいて自慢の鉢植えを展示する会もある。



足羽川渓谷にかかるシラクチカズラで出来た本格的なつり橋。全長44m、高さ12mあり、スリル満点。一緒に渡ると絆が深まるパワースポットでもある。 地図 A-5



ぎょいこう  
御衣黄はキャンプ場や水車広場にあり、花弁が緑という珍しい桜。開花は5月中旬。 地図 A-5



おう穴は、渦を巻いた水流と砂利のいたずらで、長い年月の間に川床の岩にあけられた丸い大きな穴。清流が渦を巻きながら流れていく。 地図 A-1



# 五月

日本の滝 100選 龍双ヶ滝 地図 A-1

## 緑、広がる



ゴールデンウィーク頃は家族総出の田植えで町中が賑やかだ。山では、一斉に花が咲き始める。町花のしゃくなげもこの季節に花開く。川や滝には豊富な雪解け水が流れ込み、一年で最も迫力を増す。

中でも「龍双ヶ滝」は福井県で唯一、日本の滝一〇〇選に選ばれている滝で、高さ60mから降り注ぐ水量豊かな姿は迫力満点。昔、龍が棲んだという伝説も納得する名瀑だ。近くには、流れる石や砂が川底の岩を削ってできた円形のくぼみが連続する「おう穴」も見られる。

町内の各観光施設では春の恵みを楽しみ味わうイベントが開かれ、そば道場やファームハウスコムニタなどの体験教室では、子どもたちの笑顔で賑わう。



# 六月



池田大祭は神輿の練り歩きや歌謡ショーも行われ、町内外から大勢が訪れる池田最大の祭り。神輿は6月10日14:00から。



樹齢千数百年といわれる北陸一の大杉。高さ40m、幹の周り10mで須波阿湊疑神社境内奥にそびえる御神木。地図 A-4



須波阿湊疑神社の本殿は約500年前の室町時代の建物で、三間社流れ造りと呼ばれる建築様式。国重要文化財。地図 B-3



須波阿湊疑神社 地図 B-3



「能楽の里歴史館」能の古面や能衣装、池田の文化財、出土品、古文書などを展示。「水海の田楽能舞」のDVD鑑賞も可能。地図B-3



「池田町民俗資料館」には山村の古民具を展示。予約を受け開館。入館料 大人200円、中学生以下100円 地図 B-1



不思議なことにホタルの舞う時間帯は午後8時から9時頃と決まっている。



入場は自由。事前に連絡をすれば詳しい説明も受けられる。 地図 B-3



## 堀口家住宅

「堀口家住宅」は江戸時代初期に建てられた民家を昭和47年に解体、復元したもので、国の重要文化財になっている。堀口家は、須波阿湊疑神社に仕える12軒衆の中の1軒で有力な家柄といわれている。

入母屋造りの家は、茶色い土壁に茅葺の屋根を持つ外観で、中に入ると土間はひんやりとして、いろいろ残る。天井には雪国らしいがっちりした屋根組みを支える5本の又柱を見ることができ、いにしえの暮らしの息遣いを感じる空間だ。

## 池田大祭



田んぼの稲も少し大きくなった6月9日から11日の3日間、「須波阿湊疑(すわあづき)神社」

で池田大祭が開かれる。1300年以上の歴史をもつ神社は町内48カ村の総社で、お稲荷様や小豆の神様をお祀(まつ)りし、五穀豊穰をお祈りしている。池田大祭で村人が踊る「池田追分け」は、豊かな実りを祈るもので、農作業を表した振りが特徴。

この祭りが終わるころ、梅雨入りとなり、町を流れる川のほとりでは、ホタルが舞い始める。



池田追分けは中世から伝わるといわれ、振りの大きな男踊りと小さい振りの女踊りが手拍子一つで調子を合わせる様子は思わず引き込まれる魅力がある。県指定文化財。

# 七月



池田産越のルビーを使った100%トマトジュースが人気。(こってコテいけだ)



アドベンチャーボートの申込は「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」(0778-44-7474)まで。地図B-4



イワナのお刺身やアマゴのから揚げなど新鮮な川魚料理が美味しい。(天池の宿)要予約



ラングドシャにクリームをのせた「クレミアソフト」と、旬の味覚のソフトクリームで一休み。(カフェモクモク)



素朴なおやつ「きびだんご」できたては、まさにとろけるおいしさ。(ぬくもり茶屋)



天池の宿 エサ付1竿2,000円  
中村養魚場 エサ付1竿2,500円

池田田町は鮎釣りの穴場である。夏には、多くの太公望たちが川の流れに入り、ポイントを探る。鋭い眼差しや竿さばきは、真剣勝負そのもの。鮎釣りは、友釣りとはばれる、おとり鮎を使った漁法だ。おとり鮎と遊漁証は川沿いにある三箇所のお店で扱っている。また、足羽川や部子川の上流には「天池の宿」「中村養魚場」などの釣り堀がある。いずれも川を利用した本格的な釣り堀で、貸し竿もあり、ニジマスなどの溪流魚釣りが手軽に楽しめる。

## 太公望の真剣勝負



梅雨が明けると夏の青空が広がる。志津原高原を流れる足羽川では親子で楽しめるアクティビティ「アドベンチャーポート」が人気を博す。ポートで約2・1kmの溪流を下るこの体験は、4月下旬から9月末のシーズン中、豊富な水量を誇るこの季節が最もよい。畑では豊富な種類の夏野菜が旬を迎え、食べる楽しみも増す。「越のルビー」の愛称で親しまれるミディトマトも収穫最盛期。福井県で開発された品種だが、特に池田産は、甘みが強い。丸ごと頬張って食べるのが一番おいしい。



## アドベンチャーポート



# 八月



一列に並ぶお地藏様。お参りすると、お遍路巡礼と同様のご利益があるといわれる。



センターハウス内にあるカフェピクニック!では池田町産のお米を使ったおにぎりやスコーンやシフォンケーキなどのスイーツ、コーヒーなどテイクアウトの軽食を販売している。



おもちの母屋の季節限定メニュー。涼を感じるお土産にもぴったりの一品。



減農薬、有機栽培に取り組む畑では、夏野菜が元気いっぱい育っている。



町内には体験施設が多く、家族連れに人気だ。ファームハウスコミュニティでは、自家菜園でとれた作物を利用したピザづくりができる。



ツリーピクニックアドベンチャーいけだ 地図 A-4



志津原高原を流れる足羽川は、途中、浅瀬や流れのゆるやかなポイントがあり、子どもたちも安心して水遊びができる。

真夏でも子どもたちは元気一杯だ。そんな池田っ子の自慢の遊び場所のひとつが川。流れが緩やかな浅瀬をよく知っていて、楽しそうな声を上げながら、水遊びに興じている。透明で冷たい溪流には小さな魚が泳ぎ、川底の丸石がくすぐったいような気持ちよさを感じさせる。

溪流に沿って続く散策路を歩けば、ひんやりした空気に暑さが和らぐ。

## 川遊び



様々なアクティビティをチームで協力して進む一周約50mのミニ冒険コース。身長110センチ以上、体重40キロ以下から利用可能。(キッズコース)



## 森を楽しむ 木とあそぶ

夏の燃え立つ緑は体いっぱい楽しんでみたい。

志津原エリアの美しい山林に広がるツリーピクニックアドベンチャーいけだでは、森の中で木と遊ぶアドベンチャーパークや、鳥の気分で空から森を楽しむメガジップラインがあり、子どもから大人まで、すべての世代が木や自然に気軽に親しむことができる。

# 九月



# 十月



21世紀に残したい自然100選 「冠山」 地図 A-5

## 短い秋の夜

9月に入ると刈られた稲の香りが町を包み、収穫に感謝する秋祭りが各集落で開かれる。9月の夜はとても魅力的な時間である。日が沈んだ頃に吹く一陣の涼風を合図に、夏の疲れを癒してくれる里山の夜が始まる。冴え渡る月、満天の星、山際の鋭角的なライン、どこからか聞こえてくる水音は、何とも美しい。

大きくなったり小さくなったりを繰り返す虫の音にも思わず聞き入ってしまう。秋の夜は楽しみが多い。



エコキャンドルは、廃食油から作るろうそくを参加者が灯す幻想的なイベント。9月末頃開催。

## 恵みの山



標高1257m。池田町と岐阜県の境にそびえる冠山。豊かな水源であり、山菜の宝庫、

格好の猟場で温泉も湧くという、ふもとに住む人にとってまさに恵み豊かな山。車で冠峠まで登り、尾根伝いに徒歩2時間ほどで至る山頂からは白山連峰に連なる美しい峰々を一望できる。



志津原高原には、足羽川溪流沿いの歩道や、里山散策路が整備されている。



秋晴れの早朝、山の上からは見事な雲海を見ることができる。9月中旬から11月いっぱいまでの絶景。



小粒の里芋やジャガイモを甘辛く煮た「ちんころいも」は人気の郷土料理。



「うらの米 匠づくり」は、寒暖の差と清らかな水で育てられた減農薬無化学肥料栽培のお米。



池田町の「豆」の種類は豊富。煮物にするほか、豆腐や納豆、味噌、餡などの原料になる。



地元産酒米五百万石と池田の水で造った地酒。本醸造と純米吟醸の2種類があり、冷やがおすすめ。



大根は、煮物、漬物はもちろん、そばに欠かせない暮らしの必需品である。

### 手打ちそば名店紹介



#### 一福 (いっぷく)

東京からも通う人がいるという有名店。メニューは、醤油だし、生醤油だし、塩だしの3種類のおろしそばのみ。

地図 B-3



#### 水車 (すいしゃ)

素朴なおろしそばを味わえる。おすすめはデザートのかきぶり。辛いおろしそばとの相性抜群。 地図 B-4



#### そば道場

そば打ち修行に通う人の名札が壁に並ぶ。自分で打ってもいいし、気軽に食事だけでもOK。おろしそば600円など。 地図 A-5



もち米にきびをまぜて油で揚げたきびあられ。サクツという食感と懐かしい味で人気。



豆いたは郷土料理のおやつで、大豆を米粉にまぶして油で揚げたもの。ほんのり甘い。



# 十一月

## 越前おろしそば

朝晩の冷え込みが厳しくなる頃、そばの収穫が始まる。このそばは独特な食べ方をする。まず出汁に大根おろしの絞り汁を混ぜる。その出汁を太めの麺にぶっかけて食べる。大根おろしの絞り汁を混ぜるのは、消化を助けるためと言われるが、その絶妙な辛味はくせになる。これが「越前おろしそば」である。

池田町では、そばを焼畑で作っていた歴史があり、池田産のそば粉は風味が強いことで知られる。

また、農村での大切な食材として、昔は行事や祝い事がある時に、各家庭でそばを打った。最近では趣味の一つとして、そば打ち愛好家が増えていて、池田町のそば道場を訪れる人も多い。



そば道場は、素人そば打ち施設としては福井県でもメッカと言える程。ここで腕を磨いて、独立していくそば職人も多い。 地図 A-5



# 十二月



しし鍋は予約が必要。料金の目安は1人前6,000円~7,000円。

毎年12月9日は山の神に感謝し一年の山仕事を終える「山祭り」。この祭りが終わると雪がやってくる。雪深く、寒さが厳しい池田の冬の味覚はなんといってもしし鍋。池田の山で育った元気なイノシシの肉は身の締まりがいい。牡丹の花のように丁寧に盛り付けられた肉は、思うよりもクセがなく、柔らかな歯ごたえ。山からの美味しい「いただきますもの」である。鍋は味噌仕立てで、入れる野菜も甘味が増す。「冠荘」「かずら」などの店で食べる事ができる。

## 山ノ神からの恵み



毎年12月9日は山の神に感謝し一年の山仕事を終える「山祭り」。この祭りが終わると雪



つきたての餅やおこわを販売する「おもちの母屋(ままや)」。焼き餅やぜんざいなど、出来立てを味わえる。人気の「季節のお昼膳」(800円)はおこわに旬の食材を使った天ぷらなどがついた、ランチメニュー。ミニ雑煮もついている。地図 B-3



枳餅は、枳の実の皮をむき、数日水に浸け、あくを抜いてから餅米とつく。香ばしい風味が特徴。



冠荘の夕食

日本には昔からの食文化が残る土地がある。池田町もその一つ。地域に伝わる食文化を後世に伝えようと町をあげて取り組んでいる。「冠荘」「ファームハウス・コムニタ」「おもちの母屋(ままや)」では、地元の新鮮な素材や、丁寧に保存してある山菜を、池田に伝わる方法で添加物や化学調味料を使わず調理した「風土料理」が楽しめる。派手ではないが、先人の知恵と作り手の温かみの詰まった味わいは、心も体もほっとさせてくれる。



ファームハウス・コムニタの夕食

## 風土料理をいただく

# 一月



「魚見手作りこんにやく道場」では、昔ながらのこんにやく作りが体験できる。地図 C-5



田舎の家の庭によくある柿の木。一つ一つ皮をむき、ワラでつないで軒先でひと月程干せば干し柿に。



ずいき(さといもの茎)の酢漬け「すこ」は、祭や仏教行事に欠かせないハレの料理。



「おこもじ」は池田町の方言で漬物のこと。昔ながらの漬物は「おこもじ生」の名前で販売もされている。



ばんこもちは寒の時期につくられる。ヨモギの香ばしい味が特徴。



味噌は食に不可欠。自家製にこだわる家庭も少なくない。人気の味噌屋もある。



## おもちゃハウス こどもと木



「こどもと木」は全身で木を感じられる木育施設。100種類以上の木のおもちゃや木のすべり台、木の玉プールなど、木のぬくもりをいっぱい感じられる館内で家族いっしょに楽しめる。おもちゃづくりのワークショップや、木のことを楽しみながら学ぶ木育プログラムも開催している。地図 B-3



レストハウスでは、子ども向けメニューのほか、ふるさと道場特製の越前おろしそばが味わえる。70席のテラスからはゲレンデが見渡せ、のんびり休憩できる。地図 C-5

白銀に覆われた景色は、一年で最も美しいかもしれない。大寒の頃の子どもたちはもっぱらスキー三昧だ。池田町の中心から車で10分ほどのところにある新保ファミリースキー場は、なだらかなゲレンデで、子供達や初心者も安心でき、家族連れが多い。スキーだけでなく、そりや雪遊びを楽しめるのも人気の理由。

毎年、1月から3月中旬頃が営業期間で、リフト券は1日2500円。レンタルスキーやレストランもあるので手ぶらで来て楽しめる。

## 寒さを忘れる雪遊び



白銀に覆われた景色は、一年で最も美しいかもしれない。大寒の頃の子どもたちはもっぱらスキー三昧だ。池田町の中心から車で10分ほどのところにある新保ファミリースキー場は、なだらかなゲレンデで、子供達や初心者も安心でき、家族連れが多い。スキーだけでなく、そりや雪遊びを楽しめるのも人気の理由。



水海地区では鶯甘神社のお札付きしめ縄を県内外に販売している。隠れた名産品である。

農繁期を終えても池田の人々は忙しい。秋に取れた野菜を雪中保管するため、ワラで編み上げた食料庫である「大根つんぼり」をつくったり、保存食づくりに精を出す。みやや漬物も各家庭で仕込む。魚見地区では3年かけて育てたこんにやくいもを丁寧に煮立て、こんにやくにする。

水海地区では、恒例のしめ縄づくりが佳境を迎える。青々としたワラを美しい形に編みこむには熟練した指先が必要で、神社からの特注も多い。

## 家々で生まれる名品



農繁期を終えても池田の人々は忙しい。秋に取れた野菜を雪中保管するため、ワラで編み上げた食料庫である「大根つんぼり」をつくったり、保存食づくりに精を出す。みやや漬物も各家庭で仕込む。魚見地区では3年かけて育てたこんにやくいもを丁寧に煮立て、こんにやくにする。

# 二月



## みずうみ 水海の田楽能舞

田楽とは、平安時代に庶民が田植えなどの農耕儀礼に笛や鼓で拍子をつけたものだが、後に衰退して、多くが寺社にのみ伝えられた。能は、貴族を中心にした生まれたもので現代まで文化として継承されている。池田町では、町内五ヶ所の神社で田楽や能が舞われていたようだ。現在でもいくつかの社には能面や能衣装、能舞台の跡が残っている。

その中で、実際に七五〇年以上の時を積み重ねて、田楽と能をあわせて舞

うところがたつた一つある。それが水海地区の鵜甘神社に伝わる「水海の田楽能舞」だ。伝承には、鎌倉幕府の執権、北条時頼公が諸国行脚の折、水海の地を訪れ、ここで降り積もる雪に閉じ込められ一冬を越すこととなったという。その時、村人が伝来の田楽を舞って慰さめたところ、時頼が礼にと能舞を教えたことが起源とある。毎年、2月15日に行われ、田楽と能舞をあわせて伝えていくところから、国の重要無形民俗文化財となっている。



## 「ふうう」の住民が舞う

水海の田楽能舞の主役は水海地区の住人だ。毎年、それぞれの役割を決め、中学生から年寄りまでが毎日練習する。教える長老達も学ぶ子どもたちも、その意識のどこかに数百年の歴史を伝える伝達者としてのプライドがあるという。「翁・祝詞」、「三番叟」、「高砂」の舞人を務める3人の男性は、「別火」という潔斎を行う。3日前から他人が起こした火で調理したものは食べられず、自分で起こした火でのみ調理する。当日の午前中には、周囲にうず高く雪



裏方も毎年持ち回り。滞りなく進行するために、舞台の様子や、次の演目の準備に神経を張り巡らす。面を付けるときは、ピンと空気が張り詰める。



「能楽の里歴史館」には、能の古面や衣装が展示。能舞のビデオもある。併設の古文書館では、「古文書」を読み解いて昔の暮らしを知ることができる。

入館料 大人200円、中学生以下100円 10時～16時 土日祝日のみ開館(5月～11月) 地図 B-3



能「呉服(くれは)」



「能面研修館」では、第1・2・4の土日月に本格的な能面教室が開催される。

見る方もなぜか身が引き締まる。すべての舞が終わると、みそぎをした3人の男性が丁寧に能面を木箱に納め、本殿に保管し、戸を閉め、最後に礼をする。こうして、伝統の一年が重ねられていく。



田楽「あまじゃんごこ」



誦い手は水海地区の長老達。彼らの紋付には、鶴甘神社の氏子の印、鳥の綿をかたどった紋が付く。



が積もる中、裸で川に入り、みそぎを行う。話を聞くと、寒さを通り越して痛みを感じるほどらしいが、これで神に舞いを捧げる準備が整う。舞台上に囃し方が現れるのが午後1時。そこから半日かけて田楽が4番、能が5番舞われる。神々を鎮め、舞台と世界を清める「あまじゃんごこ」の節回しに合わせた動きは不思議な躍動感に満ちている。能舞では、見る角度で表情が変わる能面を付けた舞手の、別の人格が乗り移ったような動きに、思わず食い入るように見入ってしまう。

水海の田楽能舞は神事であるだけに、

## 能面まつり お面さんまつり

須波阿須疑神社では、かつて能が奉納されていた歴史にちなみ、毎年2月6日に保存されている古面10面のうち7面が一般公開されている。また、志津原地区の白山神社でも毎年2月17日に同地区に保存されている11の古面が公開される。



志津原お面さんまつり 地図 A-5

## 能面美術館

志津原地区にある能面美術館には、能面70点が展示されている。



古面13点や、隣接する「能面研修館」で制作されたものなど、様々な表情の面が幽玄な雰囲気醸し出す。能舞台も併設されていて、能の発表会や練習などに使用されている。



入館料 大人300円、小学生200円 10～16時(土・日祝は～17時) 火曜定休(祝日の場合は翌日休館) 要予約。  
地図 A-5

## 能面づくり



能面がさかんになったのは室町時代だが、実は、その頃有名な面打ちは、越前出身者が多かった。彼らがのちに越前出目家や大野出目家など、面打ちを世襲する三家を作っていたことは意外に知られていない。



チェックイン 16:00～ チェックアウト ～10:00  
 入浴料 大人500円 小学生300円 3歳以上の幼児200円  
 1泊2食 大人9,900円～ 地図 A-4 志津原14-17



チェックイン 15:00～ チェックアウト ～10:00  
 1泊2食 8,964円～ 3歳～小学生 5,040円～  
 地図 B-4 土合血尾2-22-1



チェックイン 16:00～ チェックアウト ～10:00  
 1泊2食 10,800円(中学生以上) 5,400円(小学生)  
 夕食5,400円～ 昼食2,160円～  
 地図 B-3 稲荷34-19-1



チェックイン 15:00～ チェックアウト ～10:00  
 1泊2食(合宿宿泊) 大人7,000円 こども5,600円  
 ※合宿宿泊は5人以上の団体でのご利用の場合です。  
 地図C-5 菅生23-42

## 溪流温泉「冠荘」

かんむりそう



志津原高原の中央に立つ温泉旅館で、立ち寄り湯利用もできる。大浴場の大きな窓からは、春は桜、夏は緑の木々、秋は紅葉、冬は雪見風呂と山の宿らしさを感じさせる。夕食は、池田町の食材を使った「風土料理」を楽しめる。

## 里山ごはんといけだ体験 ファームハウス・コムニタ

里山ごはんといけだ体験



土合血尾地区の棚田の上に立つ「田舎ホテル」。地元の素材を活かした夕食や豊富な体験メニューが揃う。客室はバストイレ付の洋室中心だが、宿泊者は徒歩10分ほどの所にある溪流温泉「冠荘」を無料で利用できる入浴券がもらえる。朝夕の食卓には地元の新鮮野菜が並ぶ。

## 昭扇閣 べにや

しょうせん かく



町の中心部にありアクセスのよい和風旅館。夕食は季節の食材をたっぷり使った郷土料理が中心。要予約だが食事だけの対応も可能。季節によっては、鍋料理なども楽しめる。お子様ランチやお弁当、長期宿泊者向けに3食付きのプラン・二泊朝食プランなど相談できる。また、宿に併設した居酒屋「歩々」では、気さくなマスターや地元の常連客と触れ合える。

## 農村de合宿キャンプセンター

農村de合宿キャンプセンター



廃校になった小学校を利用した合宿施設で、体育館やナイター付きグラウンド、音楽スタジオ、木でリノベーションした食堂兼研修室など、スポーツや音楽、研修など様々なニーズに合わせて思いきり活動できる。里山の自然や農山村の文化を活かした学習プログラムもあり、池田ならではの学びの発見や体験を味わうことができるのも魅力だ。



冠荘の湯 地図 A-4

# 三月

## 山湯三昧

池田町の志津原地区は、岐阜県境の秀峰冠山のふもとにある。ここに、昔から旅人や登山客に愛されている温泉がある。わずかに白濁するその湯は、ナトリウム・炭酸水素塩泉に分類され、ぬるっとした感触で肌がすべすべになる。飲用では、慢性消化器病、糖尿病に効くとされている。

現在は、「冠荘」の温泉になっていて、地元の人はもちろん登山客、観光客など誰もが気軽に楽しめる施設となっている。



## そば処



### そば道場

職人さんが一から教えてくれるそば打ち体験や、広々とした庭園を眺めながらの食事を楽しむ。  
営業時間10:00~17:00  
第1・3火曜定休 地図A-5



### 水車

素朴なおろしそばを味わえる。手作りのきびだんごは辛いおろしそばとの相性も抜群。  
営業時間11:30~14:30  
水曜定休 地図B-4



### 一福

観光ガイドブックでも紹介される有名店。一番人気の塩だしは蕎麦通も納得の逸品。  
営業時間11:00~17:00  
火曜定休 地図B-3

## おみやげスポット



### まちの市場 こってこていけだ

池田町の物産品が集まるお店。特別栽培米「うらの米」や有機野菜、米粉を使ったスイーツが人気。店舗の前で週末だけ町民が行うマルシェハウスが開店。メニューは日替わりで町民と気軽に触れ合える。 営業時間9:00~19:00(夏期~20:00) 第2・4木曜定休(夏期無休 冬期毎週木曜日) 地図 B-3



### ぬくもり茶屋

出来立てのきびだんごを食べられるほか、手作りの池田町のおやつを販売。 営業時間10:00~16:30 4月~11月の日曜のみ営業 地図A-5



### 手作り家具工房かんな

手作りの木のぬくもりを感じる「ホッ」とする愛らしい小物や雑貨が並ぶ工房。オーダー家具の制作も出来る。 営業時間10:00~17:00 不定休 地図C-1



### こっぱい屋 (福井市 ショッピングシティベル内)

福井市内のスーパーにある池田町のアンテナショップ。毎朝専用冷蔵車が町内を巡って集荷したとれたて野菜が並ぶ。米、雑穀、おにぎり、花、わら細工など池田の「匠」を販売。 営業時間 10:00~20:00

## 食事処



### 冠荘(かんむりそう)

地元の食材を使った料理をお座敷でゆっくり食べれる。刺身や天ぷら、おろしそばなど旬の食材が揃う。3,100円要予約(温泉入浴料・お部屋代・税・サ込)  
第1・3火曜定休 地図A-4



### こってこていけだ 村の食堂

特別栽培米「うらの米」など地元の食材を使った選べる小鉢ランチ(1皿108円~)が人気。  
カフェ9:30~16:00ランチ11:00~14:00 第2・4木曜定休 地図B-3



### おもちの母屋(ままや)

池田町産の材料にこだわった月替わりおこわランチ「季節のお屋敷」のほか、ぜんざい、雑煮などお餅を使ったメニューが揃う。11:00~16:00(ランチは14:00まで) 月曜定休 地図B-3



### かずら

「冠荘」内にある食事処。おろしそばをはじめ、丼物、麺ものもある。人気メニューはイワナの塩焼き定食。  
11:30~15:00 17:00~19:00  
第1・3火曜定休 地図A-4



### 喫茶 香(かおり)

池田で育った天然鮎の塩焼き定食(期間限定問合せ要)や猪肉を使った丼やカレーが人気。  
営業時間9:30~20:00 不定休 地図B-2



### カフェピクニック!

池田町産の米で作ったおにぎりや有機野菜のジャーサラダ、池田バーガーなどを販売。カフェモクモクとは違ったソフトクリームも味わえる。  
10:00~16:00 火曜定休 地図A-4



### しらほ食堂

昔ながらの定食屋さん。お蕎麦・丼物・定食などいろいろメニューがある。  
営業時間11:30~13:30 17:00~20:00 水曜定休 地図C-4



### 歩々(ぽぽ)

「昭扇閣べにや」内の裏手1階にある居酒屋。市場から毎日仕入れるこだわりの魚介類や串焼きなど豊富なメニューが揃う。 営業時間18:00~23:30 木曜定休 地図B-3



### 酔虎 夢(すいこ ゆめ)

池田町でとれた猪や鹿や山菜など旬の食材の丼「池田山賊丼」が囲炉裏端で食べれる。 営業時間11:00~15:00 土日祝のみ営業 地図B-5

# 池田タウンページ






## 宿泊

	渓流温泉 冠荘 TEL 44-7755 志津原14-17 地図 A-4 P24掲載 山あいの温泉宿 第1・第3火曜定休 8:00~21:00 日帰り温泉10:00~21:00 (冬期10:00~20:00)
	里山ごはんといけだ体験 ファームハウス コムニタ TEL 44-7744 土合血尾2-22-1 地図 B-4 P24掲載 水曜定休 8:30~17:30 農村体験宿泊施設
	昭扇閣 べにや TEL 44-6005 稲荷34-19-1 地図 B-3 P24掲載 木曜定休 8:00~17:00 町内中心部の旅館
	農村de宿泊キャンプセンター TEL 44-6181 菅生23-42 地図C-5 P23掲載 年末年始 8:00~17:00

## 食事

	おもちの母屋 <sup>ままや</sup> TEL 44-8338 稲荷37-8-1 地図 B-3 P25掲載 月曜定休 11:00~16:00(ランチ14:00まで) お餅・お雑煮・季節のお昼膳
	こってりコテいけだ 村の食堂 TEL 44-8050 稲荷36-25-1 地図 B-3 P25掲載 第2・4木曜定休(夏期無休・冬期毎週木曜定休) 9:30~16:00(ランチ11:00~14:00)
	カフェモクモク TEL 44-7730 志津原15-1-1 地図B-4 P8掲載 火曜定休 10:00~16:00
	カフェピクニック! TEL 44-7474 志津原28-16 地図A-4 P25掲載 火曜日定休 10:00~16:00
	かずら TEL 44-6404 志津原14-17(冠荘内) 地図 A-4 P25掲載 第1・第3火曜定休 11:30~15:00 17:00~19:00 山菜料理・丼物・そば
	喫茶 香 TEL 44-6952 谷口1-1 地図 B-2 P25掲載 不定休 9:30~20:00 喫茶・軽食・おとりあげ販売
	酔虎 夢 TEL 090-9768-5300 土合血尾4-5-9 地図 B-4 P25掲載 土日祝のみ営業 平日予約により対応 11:00~15:00その他予約により対応 池田山賊丼
	しらほ食堂 TEL 44-6217 池田11-3-3 地図 C-3 P25掲載 水曜定休 11:00~13:30 17:00~20:00 丼物・麺類・定食
	歩々 TEL 44-6005 稲荷34-19-1(べにや内) 地図 B-3 P25掲載 木曜定休 18:00~23:30 居酒屋、串焼き、鮮魚
	そば道場 TEL 44-6878 土合血尾14-7-1 地図 A-5 P26掲載 第1・3火曜定休 10:00~17:00 そば、そば定食(要予約)
	一福 TEL 44-6121 稲荷34-24-1 地図 B-3 P26掲載 火曜定休 11:00~17:00 そば
	水車 TEL 44-7699 稲荷10-36-1 地図 B-4 P26掲載 水曜定休 11:30~14:30 そば

## アウトドア

	アドベンチャーボート TEL 44-7474 (ツリーピクニックアドベンチャーいけだ) 地図 B-4 P7掲載 要予約 全長2.1kmのミニラフティングコース 集合場所(カフェモクモク)志津原15-1-1
	天池の宿 TEL 44-6468 河内14-6 地図 A-5 P8掲載 4月~12月営業(冬期は予約により対応) 8:00~17:00 釣堀・渓流魚販売・魚料理・バーベキュー(要予約)
	中村養魚場 TEL 44-6868 大本54-3 地図 A-2 P8掲載 不定休 8:30~17:00 釣堀・渓流魚販売
	新保ファミリースキー場 TEL 44-7787 新保13-4 地図 C-5 P18掲載 1月上旬~3月上旬まで 平日9:00~16:00 土日祝8:00~17:00 レンタルスキー・レストラン
	ツリーピクニックアドベンチャーいけだ TEL 44-7474 志津原28-16 地図A-4 P10掲載 火曜定休 10:00~17:00 要予約 森を活かした体験施設

## 体験

	魚見手作りこんにやく道場 TEL 44-6756 090-5689-7112(内藤) 魚見13-6-1 地図 C-5 P17掲載 要予約 こんにやく作り体験(お土産付)
	里山ごはんといけだ体験 ファームハウス コムニタ TEL 44-7744 土合血尾2-22-1 地図 B-4 P4掲載 水曜定休 ピザづくり体験 4月~10月毎週土曜・日曜・祝日 夏休みは毎日実施 1日2回 11:00~ 14:00~
	そば道場 TEL 44-6878 土合血尾14-7-1 地図 A-5 P4掲載 第1・3火曜定休 体験時間 10:00~ 13:30~ 15:00~ 要予約 そば打ち・餅つき体験
	おもちゃハウス こどもと木 TEL 67-5190 藪田4-1-1 地図B-3 P18掲載 月曜休館 10:00~16:00 100種類以上のおもちゃで遊べる木育施設・クラフト体験
	木の里工房 TEL 44-6270 藪田4-1-1 地図B-3 月曜定休 10:00~16:00 問合せ要 木工体験(要予約)

## 買い物

	まちの市場 こってりコテいけだ TEL 44-8050 稲荷36-25-1 地図 B-3 P26掲載 第2・4木曜定休(夏期無休・冬期毎週木曜定休) 9:00~19:00(夏期~20:00) 食料品・町内産の米や野菜、特産品の販売
	ぬくもり茶屋 志津原(能面美術館前) 地図A-5 P26掲載 日曜のみ営業(冬期休業) 10:00~16:30 きびだんご・かきもち等の手作りの販売
	手作り家具工房かんな TEL 44-7370 松ヶ谷15-14 地図C-1 P26掲載 不定休 10:00~17:00 手作り木工雑貨・家具の販売・オーダー家具
	こっぱい屋 TEL 0776-35-0051 福井市花堂南2-16-1 SCベル内 P26掲載 ベルの営業時間に準ずる 10:00~20:00 池田町の米、野菜、惣菜の販売

## 歴史文化

	能面美術館 TEL 44-7757 志津原17-2 地図 A-5 P21掲載 火曜定休 10:00~16:00(土日祝は~17:00) 能面の展示、能面工房
	能楽の里歴史館 TEL44-6475 問合せ先:教育委員会44-8006 稲荷12-1-2 地図 B-3 P6掲載 土日祝のみ開館 10:00~16:00 歴史の博物館・古文書の展示
	堀口家住宅 問合せ先:教育委員会TEL44-8006 稲荷32-17 地図B-3 P6掲載 無料開放(冬期問合せ要) 9:00~17:00 江戸時代初期の古民家
	民俗資料館 問合せ先:教育委員会TEL44-8006 野尻11-3 地図B-1 P6掲載 予約を受け開館 山村の古道具展示

## 公共施設

	池田町診療所(ほっとプラザ) TEL44-6021 藪田5-3-1 地図B-2 土曜午後・日祝休診 (月に一回土曜休診) 8:30~11:30 13:30~16:30
	派出所 池田駐在所 TEL44-6029 稲荷36-5-1 地図B-3 松ヶ谷駐在所 TEL44-6821 松ヶ谷12-22 地図C-1
	消防署・レスキュー TEL44-8119 稲荷35-2-1 地図B-3
	池田観光 TEL44-6660 稲荷25-10 地図B-3 無休 9:00~18:00
	いけだ農村観光協会 TEL44-8060 稲荷36-25-1 地図B-3 無休 9:00~17:00
	越前市 福井鉄道営業部 TEL21-0712 越前市北府2-5-20 無休 8:30~17:00 武生~池田路線バス
	福井市 京福バス地形本部 TEL0776-57-7700 福井市日之出5-3-30 土日祝定休 8:30~17:30 福井駅~池田路線バス

※市外局番がないものは0778を付けてください

# 池田町 観光ロードマップ

